

プラダー・ウィリ症候群のために受診中あるいは受診経験のある  
患者さんまたはご家族の方へ  
(臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター小児科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはありません。

**本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。**

【研究課題名】

成長ホルモン治療を受けた日本人プラダー・ウィリ症候群患者における最終身長への到達像と関連因子の検討（後ろ向き観察研究）

【研究の目的】

本研究は、日本人のプラダー・ウィリ症候群の患者さんにおいて、成長ホルモン（GH）治療を受けた後に最終的にどのくらいの身長に到達するのかを明らかにすることを目的としています。また、成長ホルモン治療を開始した年齢と最終身長との関係や、最終身長に関する可能性のある臨床的な要因についても検討します。

【対象となる方】

2021年1月から2025年12月までの間に、獨協医科大学埼玉医療センター小児科においてプラダー・ウィリ症候群の診療を受け、成長ホルモン（GH）治療歴があり、既に最終身長に到達している患者さん

【使用する診療情報】

本研究では、新たに検体（血液など）を採取することなく、診療録に記載された以下の情報を使用します。

- ・最終身長・成長ホルモン（GH）治療開始年齢
- ・遺伝子型
- ・体格指数（BMI）
- ・その他、診療録に記載された成長評価に関する情報

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認後、病院長許可日（2026年3月26日）から2026年12月31日まで実施され、60名の患者さんにご協力頂く予定です。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで仮名化されたのち解析を行います。また、使用したカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【データの保管】

この臨床研究によって得られたデータは、鍵やパスワードなどで保護し、第三者へ漏洩することがないように厳重保管され、研究の中止あるいは終了後5年または最終公表3年のいずれか遅い日まで保管されたのち、適切に廃棄されます。

【結果の公表】

この研究の研究成果は第59回日本小児内分泌学会で発表予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。また関連雑誌に投稿予定です。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 小児科 大戸佑二（准教授）

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 小児科 担当者：大戸佑二（准教授）

電話番号：048-965-8363（医局直通） 14:00 から 16:00